

玉

藻

第 26 号

一九九一年(平成三年)三月十日発行

玉 藻 第二十六号 目次

有間皇子事件の政治的背景……………	関	1
柿本人麻呂の近江荒都歌をめぐって……………	赤	19
笠女郎の作歌と大伴家持の年齢について……………	入	34
芥川龍之介「一塊の土」研究……………	岸	51
——作品の位置をめぐって——……………	和	65
日本正教会邦訳聖書の国語学的位置付け……………	気	1
——「天使」「復活」を中心に——……………	仙	65
『和泉式部日記』文体・位相別自立語索引稿……………	安部清哉	1
〈研究ノート〉……………	国語学ゼミ学生	左
「雨」をめぐる語彙の歴史……………	東	79
……………	條	
……………	絵	
……………	里	
一九八九年度卒業論文題目……………		89
彙報……………		92

玉 藻 第二十六号

一九九一(平成三)年三月五日 印刷

一九九一(平成三)年三月十日 発行

編集兼 フェリス女学院大学国文学会

発行人 代表者 福田 準之輔

印刷所 早稲田大学印刷所

〒169 東京都新宿区戸塚町一―〇三
電話 〇三―三三〇三―六三五六

発行所 フェリス女学院大学国文学会

〒231 横浜市中区山手町三七